



一中だより

令和6年度 第6号

令和6年6月18日(火)

交通ルール遵守の大切さ 交通事故のこわさ

を実感的に学びました

6月13日に交通安全教室を実施しました。今年度は2時間扱いで行い、前半を伊勢崎警察署交通課から警察官を招いての講話・ビデオ視聴、後半をスケアード・ストレイト方式による体験型交通安全教室で実施しました。スケアード・ストレイト方式とは、専門のスタントマンによる交通事故現場の再現を実際に見て、交通規則を守ることの大切さを知るとともに交通事故の原因を目視することで事故に遭わない自転車の乗り方や歩行の仕方を実感的に学ぶ方法です。

今回は、校庭で「傘差し運転や2人乗りが原因となる自転車と自動車の事故」「右側走行が原因となる自転車同士の事故」「交差点における前方・側方確認不十分による自転車と自動車の事故」「横断歩道を渡っている歩行者と安全運転義務違反の自転車との事故」など多くの事故事例をスタントマンが再現し、その様子を全校生徒が間近で見えて事故の原因を理解することから事故を未然に防ぐ手立てを学びました。自転車に乗ったスタントマンが自動車と接触して身体が飛ばされたり自動車に乗り上げたりする様子などを見ることで頭での理解を超えた迫力を覚えました。また、自転車は被害者にも加害者にもなる怖さも学べたことと思います。

伊勢崎市では、市の予算措置によって中学校は3年間に1回(中学校在学中に1回)、スケアード・ストレイト方式による交通安全教室を受けることができます。本校は今年度がその順番に当たっており、大変貴重な機会でした。

年度当初に「今年度、自転車事故ゼロを願っている」と記しましたが、これまでに複数件の登下校中の交通事故が発生してしまいました。幸いなことに生命に関わる重篤な事故は発生しておりませんが、事故後に救急搬送された事案もありました。また、残念ではありますが、地域の方々から一中生の登下校の様子に対する苦言や厳しいご指摘をこの2か月余りの間に複数いただき、その度ごとに生徒への指導を繰り返している現状があります。今回の交通安全教室での実感的な学びを通して、今年度末までの10か月間は交通ルール・マナーをしっかりと遵守して交通事故ゼロを実現して欲しいと願っています。



夏の学びに向けて … プール清掃を行いました

今年も5月末～6月初の放課後、体育委員生徒と体育担当教員で、プール清掃を行いました。プールの底や壁面をデッキブラシでキレイに磨いたり砂等を竹ぼうきで掃き出したりするとともに、側溝やシャワー付近などの清掃も行いました。昨夏からの汚れをキレイに拭い、全校生徒が気持ちよく水泳できるようピカピカにしてくれました。先生の指示のもと一生懸命にそして丁寧に清掃へ取り組んでいる様子をうかがいながら『さすが、中学生だなあ…。頼もしいな。』と感服しつつ『今年もプール事故がゼロでありますように』と願わずにはいられませんでした。体育委員の生徒の皆さん、ありがとうございました。



日頃から考えていることを発表してくれました

5月31日に、少年の主張校内大会を実施しました。今年度も、全校生徒を体育館に集めることなく、発表生徒は会議室でwebカメラに向かって主張し、聴衆生徒は各教室の電子黒板で発表を視聴するといったリモート形式で行いました。

校内大会は、各学級・学年の予備審査を経て選ばれた代表生徒計10名が校内大会に臨み、自らの考えや思い、願いを「主張」としてまとめ、全生徒へ伝えていました。発表内容は、普段の生活の中で出来事や実感していることをきっかけや素材にして、より良い社会を作り出す一助になることや自分自身の生き方を深く見つめより豊かな人生を送るための契機になることなど、いずれの発表も素晴らしいものでした。また、司会進行は3年生の国語係代表者が担い、スムーズに大会運営がなされました。

この大会をきっかけの一つとして、ますます自分を深く見つめたり、よりよい社会の形成者の一員としての自覚を高めたり、自分の思いを分かりやすく他へ伝えられるようになったり…等々、願っております。

なお、校内大会で発表した生徒のうち3年5組の塩谷さんは、6月27日開催予定の「少年の主張市大会」に本校代表として出場します。本校代表として、臆することなく頑張ってください。



熱中症による大事故につながらないように…

夏本番を迎える前の6月3日に本校全教職員で『危機管理研修 熱中症救急処置研修会』を実施しました。学校行事や出張等によって教職員が手薄な状況で熱中症により生徒が倒れた場合を想定し、緊急時に的確かつ速やかに対応できるようにすることをねらいとしました。今年度も、想定した状況に対して各教職員が役割分担し実際に動いて対処する「シミュレーション形式」で研修を行いました。



実際に動いてみることで、緊急事態への対応についてイメージができ、実践的な学びになりました。熱中症は予防が第一ですが、発症した際には早期の適切な処置が重症化を防ぐために有効であるといわれており、今回の研修では、この初期対応・早期処置に重点を置いて職員間の共通理解や協力体制(関係機関への連絡等も含め)などの確認を行いました。

昨年度同様に暑くなることが予想される今年の夏、一中では熱中症の予防に十分に配慮して教育活動を展開したいと思っております。ご家庭におかれましても、熱中症予防に向けて睡眠時間の確保や朝食の摂取などについて御協力をお願いいたします。